

全私保連予算対策委員会

6月9日、今年度第1回の予算対策委員会が、全国保育会館で開催され、島根からは古川会長、志田尾予対部長、堀江予対副部長が出席しました。

この委員会では、平成21年度国会請願項目、平成22年度に向けた要望事項について協議されました。また終了後には、地元国会議員の方々へ陳情行動を展開しました。

例年のように今年度も請願署名並びにカンパ活動を続けて行います。加盟園の皆様には8月中旬頃のご案内になると思いますので、ご理解ご協力のほどをお願いします。

全国私立保育園研究大会

第52回全国研究大会（高知大会）は、6月17～19日、高知市・高知県立県民文化ホールを主会場とし、約1,900名が参集して「みんなで育む大切ないのち～まっことこどもはみんなあのお宝ぜよ～」をテーマに開催されました。

この大会第2日目の分科会で、第1分科会「心の育ち 人とのかかわりの中で育つ」では、松江市・たけかや保育園保育士の稲垣みずほ・近藤睦美先生が提案発表をされました。

また、中四国ブロックの役割協力として、第2分科会「心と体の健康 家庭と連携して作る生活リズム」では、隠岐共生学園第一保育所長の若林京子先生が座長として、ハマナス保育園長の小原真由美先生が幹事として務められました。

この全国大会の分科会における提案発表については、毎年、次年度の発表を募っています。この発表は、実践や提案についての発表であり、加盟園の皆様に依頼することがあるかと思しますので、ご理解ご協力をお願いします。

島根私保連理事会

今年度第3回の理事会を、6月22日出雲市・ウェルシティ島根で開催しました。

役員改選で今年度から新体制となったこともあり、午前中には正副会長会を開催して状況報告や計画の調整等をし、午後から引き続いて理事会を行いました。

開催協議内容は、全私保連関連の状況の報告事項に続き、島根私保連の状況について、また加盟要件(資格)について再度審議し、併せて会費規程、各専門部の計画について協議しました。

報告事項のなかで、定期総会の総括があり、また当日質問のあった予対請願署名提出先が衆参両院議長宛になっていることについては、次の事由によるものという全私保連の見解が報告されました。

衆参両議会で決議することの意味があると考えていること。

法案化されたものは議会決議であること。

立法権を決めるのは議会であるため議会の長に提出するものであること。

島根県保育振興議員連盟では、「保育制度」に関する意見交換会・要望活動を、7月14日に厚生労働省並びに県選出国会議員に対して行うこととしています。これは、昨年島根県保育三団体が行った陳情活動により、議員連盟が意見書を提出したことによるもので、意見交換の内容については、6月29日の保育三団体代表者会議で調整確認して行います。

加盟資格要件について、特に認定こども園については、一昨年来の継続事項ですが、制度の変革過渡期でもあり状況を見極めるためにも、昨年度までの事項の確認や意見交換するだけにとどまり、継続審議することとしました。但し、研修会の参加については、従来非加盟園でも参加できるようにしています。

会費については、今年度より施設規模に応じ定員の細分化があったことをふまえ、これに即した会費区分の見直しをすることで、今年度内に整備していくことになりました。

専門部については、予対部・研修部・広報部・調査部・事業部より、今年度の取り組み計画等について、順次説明があり、協力方の要請等がありました。尚、研修会の案内については、随時案内する予定です。

その他として、最後に、島根青年会議岩倉会長から、今年度の青年会議の状況について報告があり、このなかで10月22日には中四国ブロック研修大会を島根青年会議が担当して開催するという事です。

雨の季節。蒸し暑さとともにやってきました。(吉)